

### 産業まちづくり地域の抱える問題

飯島 正義



**問** 三輪野江地区のまちづくりを進めるために、市は懇談会を平成27～28年度に開催し、3つのエリアに分けて、基本的な考え方を説明しました。「将来開発検討エリア」は生活道路などの痛みが激しくなっています。この地域では火災もありました。今後の環境整備の計画は。

**答** 優先順位を地元の皆さんと話しながら水路、道路の整備を進めます。防火水槽の必要性を認識し用地の選定を協議検討しています。

#### ◆福祉タクシー券助成事業制度の充実を

**問** 人工透析を受けている方などで、通院先に送迎がないケースもあると聞いています。例えば、横浜市や川崎市のタクシー券は月7枚ですが、週3回の人工透析の人には14枚保障されています。吉川市でも初乗りの1枚だけでなく、複数枚使ってもよいというような制度に変えていただければ、外出の負担が軽減できますがご見解は。

**答** 現在は障がい者の生活圏拡大と社会参加の促進を図るため、埼玉県とタクシー業者と協定を締結して実施しています。一度に複数枚のご利用や1枚当たりの金額の増額は、考えていません。

### 低木の切り株を残さずしっかりと安全対策を

吉川 敏幸



**問** 近年、公園再生プロジェクトにより木々の伐採が行われた関公園。低木の切り株が5cmほど出ている非常に危ない。昨年度から伐根してほしいとの要望が出ており、年度内にやるとの回答だったが未だにそのままとなっている。いつ、対処するのか。

**答** 土の上に出ている部分は伐採し、移動の支障となっているものについては、なるべく早めに対処していく。

#### ◆今秋予想される米価の下落に対する支援策を

**問** コロナ禍や食の多様化等により米の需要が減っている。それに伴い、今秋の米価の大幅な下落が懸念されている。市として、農家の所得を確保するために事前にナラシ制度等を農家の方々に通知、説明してきたか。また、ナラシ制度の申請期限、窓口はいつ、どこになるのか。

**答** 大きい事業者の方が打撃が大きいので、丁寧に説明してきた。また、国の所得安定対策については分かりやすい発行物があるので、事ある毎に送るようにしている。ナラシ制度の申請期限は終了している。窓口は市役所になる。

### 「吉川美南駅」の建設費市の負担額12億7千万円

伊藤 正勝



**問** 吉川美南駅西口側に新たに魅力的な温浴施設や飲食店等が開業。東側は開発の基盤整備5年目。今回は新駅について建設費の総額と市負担額を確認するとともに「操車場跡」の用地の実状や駅の利用状況について伺いたい。

**答** 新駅設置の総事業費は約67億円。このうちJR東日本が折り返し機能相当分として約24億6千万円。市の負担は約12億7千万円。残りは区画整理の事業者で受益者の鉄道・運輸機構の負担に。駅舎を含む「操車場跡」の用地は計画人口3500人に対し4100人余が居住(5/1現在)。駅の利用客は1日平均5523人。2面3線のホーム利用は年間10回程(人身事故対応等)。当駅始発も平日の朝、西船橋や東京方面に2本運行されている。

**問** 「旧JRグラウンド」については売却差益の一部を新駅建設費に回せば市負担ゼロできると何度か提起してきた。この扱いは。

**答** 市は東口の土地区画整理事業の一地主権者。企業への売却等を予定している。この売却で得た資金は東口開発の特別会計の歳入にはならない。事業費にも計上はされないことになる。

### 積極的な交通安全対策が必要、一日も早い対応を。

齋藤 詔治



**問** 3月26日に吉川橋の片側2車線が暫定開通されました。新橋は勾配が緩やかで利用しやすく、自転車通学が急増しています。吉川交番前交差点に設置された立て看板に朱書きで「お願い・吉川橋通行の方は北側歩道をご利用ください」と赤い矢印で示されています。交差点から橋周辺までの北側歩道は大変狭く危険です。小学生の登校時間帯と自転車通学が重なり、早急な交通安全対策の実施をすべきです。またこの交差点から東80mにT字路があります。見通しが悪く、住民の方々から歩行者及び自転車等の事故が危惧されています。歩道を確認できるカーブミラー等の安全対策の要望が多くありますがいかがですか。

**答** ご指摘の吉川交番前周辺交差点の通行状況を確認しており、埼玉県に報告を行うと共に安全対策を要望。現在埼玉県から、道路利用者の安全を確保するための対策を検討していると聞いています。またT字路交差点に歩道を確認するための反射鏡を設置する考えはありませんが、路面標示や注意喚起の看板の確認等の安全対策を検討していきます。